

事業報告

(1) 基本理念

①教育理念

社会や保健医療制度がめまぐるしく変動する昨今にあつてなお、深い洞察力とたゆまぬ探求心に基づく専門的知識・技術はもとより、豊かな感性と人間愛を兼ね備えた前途有為の医療専門職業人を育成することにより社会貢献を図ります。

(2) 総括

新型コロナウイルス感染症により、オンライン講義の導入、学内実習の実施、教室の感染症対策など、学校教育の形式が大きく変化した。教員は学内実習やオンライン用教材の作成など、新たな対応に追われた。その中でOffice365の導入やデジタル化を進めた。

下の表のから、休学13名、退学19名であった。前年度と比較して休学が3名減少。退学者は1名減少した。新型コロナウイルスの影響での経済面、や学業面での退学はなかった。おもと会ところと身体のヘルスケアセンターとの連携により、休退学が減少傾向にある。

①在校生の状況

学科		定員	年度開始	休学	退学	年度末数
理学療法学科	昼間部	120名	117名	1名	2名	115名
	夜間部	160名	149名	4名	3名	145名
作業療法学科	昼間部	90名	83名	3名	0名	83名
	夜間部	120名	103名	2名	7名	96名
言語聴覚学科	昼間部	90名	86名	2名	5名	81名
介護福祉学科	昼間部	80名	45名	1名	2名	43名
全体		660名	583名	13名 (2.2%)	19名 (3.3%)	563名

受験生の確保については、高校・予備校の先生方を対象にした学校説明会やオープンキャンパスは従来の方法では実施せず、WEBでの実施に切り替えた。個別相談会は少人数での対応やオンラインで実施し、これまでとは異なったやり方を試みた。行っている状況で新たな気づきにつながった。学生の就職支援についても、大きな会場を借りて感染対策を講じて対面型説明会を実施、また、office365を活用したオンライン就職説明会も新たに始めた。

また、昨年度の理事会の決議を経て、理学療法学科・作業療法学科の夜間部を募集停止と、理学療法学科昼間部の定員20名の増員申請手続きを行った。更に、これまで対応できていなかった、『高等教育修学支援制度』（経済的理由で進学をあきらめないための国の施策）の認可申請や、教育の質を担保するための『職業実践専門課程』の認定手続きを行った。結果は、理学療法学科昼間部、作業療法学科昼間部、言語聴覚学科、介護福祉学科が認定を受けた。

②就職活動

コロナ禍により、下表のとおり、就職説明会の実施方法については初回が県内のみの実施、2回目にはオンラインを導入、対面と併用して進めた。

年度末には全員が就職して100%を継続して達成することができた。

◆就職説明会実施状況

就職説明会参加	県内	県外	合計	備考
第1回	54	—	66	コロナ感染拡大にて県内のみ
第2回	57	16	73	オンライン（県内4、県外37）

(3) 人員配置と質の確保

①2020年度職員配置

学 科	定 数	配置数
学 院 長		1
副 学 院 長		1
教 務 部 長		1
理 学 療 法 学 科		12
作 業 療 法 学 科		12
介 護 福 祉 学 科		3
言 語 聴 覚 学 科		5
事 務 部		9
合 計		44

(4) 職業専門実践課程に係る委員会の実施状況

	学校関係者評価委員会	教育課程編成委員会	
		第1回	第2回
2020年度	2021年3月25日	2020年5月27日	2021年3月25日

①教育課程編成委員会 委員総数20名（外部12名 学内8名）にて実施

②学校関係者評価委員会 総数14名 委員6名 教職員8名

(5) 国家試験合格率

新卒については各学科全国平均を上回ることができた。

学科名	合格率	全国平均
理学療法学科	92.0%	79.0%
作業療法学科	83.0%	81.3%
言語聴覚学科	81.8%	69.4%
介護福祉学科	100.0%	71.0%